

平成21年5月15日

報道関係各位



**「新型インフルエンザ対策に関する意見と要望」
の提出について**

本日、標記について、厚生労働大臣に別紙の意見および要望を提出しましたので、お知らせいたします。

お問合せ先：(社)日本薬剤師会
専務理事 石井 甲一
(事務局担当：小松)
電話 03-3353-1170
FAX 03-3353-6270

新型インフルエンザ対策に関する意見と要望

平成21年5月15日
社団法人 日本薬剤師会

1 抗インフルエンザウイルス薬の安定供給のための備蓄体制の確保

- 一部地域、一部医療機関などからの大量発注による医薬品の偏在を起ささない供給体制の整備と備蓄情報の適切な提供が重要。
- 特にまん延期においては、メーカー、卸、医療機関・薬局の間の流通がスムーズに行われるような事前の準備が大切。
- 行政における備蓄製品・流通備蓄製品と通常流通製品の医療機関や薬局への供給方法が混乱しないような準備が重要。

2 特にまん延期における、外来・在宅患者に対する、抗インフルエンザウイルス薬等の医薬品等の適切かつ迅速な提供体制の確保

- 地域の薬局は、医薬品・医療材料の供給拠点としての役割を果たすことが使命。
- そのためには、ファクシミリ等を用いた処方せんの応需、調剤した薬剤の交付、適切な服薬指導、その後の患者フォローなどの業務の一連の流れを事前に明確にしておき、周知しておくことが重要。
- また、患者のみならず地域住民の感染予防のため、マスク等の衛生材料の供給体制の確保も重要。

3 特にまん延期における、薬局の薬剤師や従事者の安全と健康の確保

- 地域住民への適切な医薬品供給を確保するためには、在宅療養等の感染者との接触を回避することは不可能であることから、防護服等の予防用具の備蓄への支援、ワクチンの優先接種等の安全確保対策を要望。

4 新型インフルエンザ用ワクチンの早期開発、更には自己注射が可能なワクチンの開発と薬局等への備蓄

- 感染拡大の最小化のためには、ワクチンの早急な開発が重要。
- すべての国民へのワクチン接種体制を確保するためには、地域における薬局において接種が可能となるような、例えばインスリン注射薬のような自己注射が可能な製剤の開発が重要。

5 医療機能が麻痺状態に至った場合の、セルフメディケーションを通じた薬局機能の活用

- 新型インフルエンザ治療への対応の結果として、軽度の疾病への対応については一般用医薬品等の提供や薬剤師の服薬指導を通じた薬局機能の活用も重要。